



宮崎日日新聞の「若い目」に河上天音さん  
(西池小学校出身/中学2年)の作文が掲  
載されました。

言葉の力は偉大

宮崎第一中2年 河上 天音

1年ほど前、けんか中だった母が言った。「今の自分に何が大切なのか、自分で考えてみるのが将来につながるの。あなたの将来を思っているの」と。その時はいら立っていてその言葉は全く

私の耳に入らなかった。本当はすごく大切なことを伝えてくれていたはずなのに。それから2日後、数学の先生が校内テスト直前の私たちに、「自分にとって本当に大切なと思う勉強を自分で探すことがスタートです。それが何年か後になって君たちの役に立つ時がきつときます」というメッセージを伝えてくださった。その時、先生と母が一瞬、重なったように感じた。そこでようやく母が言っていることの意味が分かった。母の発した言葉が私のものになった瞬間だった。

反感を持っている相手の言葉は心に真つすくには入ってこない。心を開いてその人の言葉を聞き入れるか、それとも聞き入れないかで、私を思ってくれる相手の言葉の一つ一つを「私の言葉」にできるかどうかが決まる。私の近くにいて、私を見守る人たちの言葉の力は偉大である。

(宮崎市)

宮崎日日新聞(11月17日掲載)